

- NEWS RELEASE -

報道関係者各位

2011年2月25日

株式会社ケイブ

## 位置情報ケータイゲーム『しろつく』 秋葉原のリアルイベントに1万人を動員！



エンターテインメント事業を展開する株式会社ケイブ(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:高野健一 大証 JASDAQ コード:3760、以下ケイブ)は、2月19日に秋葉原で開催したリアルイベント『ケイブからの大切なお知らせ 2011』に、位置情報ケータイゲーム「しろつく」のユーザーを1万人動員しましたことをお知らせいたします。

『しろつく』は、携帯電話のGPS機能を利用して全国各地の地域限定アイテムを集めながら、自分だけの城下町を発展させていくソーシャルゲームです。2月25日現在、ケータイ総合ポータルサイト「モバゲータウン」及びソーシャル・ネットワーキング・サービス「GREE」及びソーシャル・ネットワーキング サービス「mixi」にて配信中で、会員数は280万人に達しています。

このたび開催した秋葉原のリアルイベントでは、イベント当日の2月19日に秋葉原で位置情報を登録すると特産品「えれきてる」が入手でき、さらに、秋葉原のイベント会場で配布されているチラシのQRコードを読み取ると、お城の外観「からくり城」が入手できます。イベント終了後集計の結果、今回のイベント限定アイテムの取得者数が1万人を超えました。

今後もしろつくでは、「お出かけが楽しくなるゲーム」を目指し、位置情報を活用したイベントを実施してまいります。

## ■イベント概要

イベント名:『ケイブからの大切なお知らせ 2011』

開催日:2011年2月19日(土)

開催時間:10:00～17:00

開催場所:ベルサール秋葉原 1F

(東京都千代田区外神田 3-12-8 住友不動産秋葉原ビル 1F)

特設サイト URL:

<http://www.cave.co.jp/event/cave2011/>

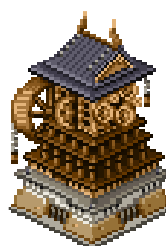
しろつくイベント内容:

イベント期間中に秋葉原で位置情報を登録すると、特産品「えれきてる」が入手できます。さらに、位置情報を登録した後に秋葉原のイベント会場で配布されているチラシのQRコードを読み取ると、お城の外観「からくり城」が入手できます。

### 【イベント限定アイテム】



特産品「えれきてる」



城外観「からくり城」

## ■『しろつく』とは

『しろつく』は、戦国時代の城主となって、自分だけの城下町を育成するソーシャルゲームです。「おでかけが楽しくなる」をコンセプトに、位置情報を活用した地域連動型の遊び方を追求しています。

PR 用 PC サイト URL:

<http://www.cave.co.jp/social/shirotsuku/>



## ■本件に対するコピーライト表記

(C) 2010 CAVE CO., LTD.

## 【サービス概要】

<GREE 版>

コンテンツ名称:「しろつく」

料金体系:基本プレイ無料、アイテム課金制

配信開始日:2010年6月29日(火)

URL:<http://mpf.gree.jp/52>(携帯のみアクセス可能)

利用方法:「GREE」への無料会員登録後、利用可能

<モバゲータウン版>

コンテンツ名称:「しろつく」

料金体系:基本プレイ無料、アイテム課金制

配信開始日:2010年2月4日(木)

URL:<http://pf.mbga.jp/12000022>(携帯のみアクセス可能)

利用方法:「モバゲータウン」への無料会員登録後、利用可能

<mixi版>

コンテンツ名称:「しろつく for mixi」

料金体系:基本プレイ無料、アイテム課金制

配信開始日:2010年11月18日(木)

URL:[http://m.mixi.jp/view\\_appli.pl?&id=25625](http://m.mixi.jp/view_appli.pl?&id=25625)(携帯のみアクセス可能)

利用方法:「mixi」への無料会員登録後、利用可能

<Yahoo!モバゲー版>

コンテンツ名称:「しろつく for Yahoo!モバゲー」

料金体系:基本プレイ無料、アイテム課金制

配信開始日:2010年10月7日(木)

URL:<http://yahoo-mbga.jp/game/12002107/>(PCのみアクセス可能)

利用方法:「Yahoo!モバゲー」への無料会員登録後、利用可能

**【株式会社ケイブ】**

株式会社ケイブは、モバイルメディアやインターネット上で、趣味性の高いエンターテインメントコンテンツを企画・制作・運営・マーケティングするエンターテインメント事業を展開しています。エンターテインメントを通して楽しめる“コミュニティ”を構築し、オンラインゲームはもとより、あらゆるオンラインエンターテインメントをすべてのお客様に提供していきます。